

主な指摘事項(電気設備工事)

1. 書類・手続き関係

電気設備工事における書類や手続きの主な指摘事項は次の通りです。社内検査などで特に確認するようにしてください。

工事実績情報	・ CORINSの登録を完了日(変更日)を含めて10日以内(土・日・祝祭日含まず)に行ってください。
施工計画書	・ 施工に必要な資格を記載し、作業主任者(足場、特定化学物質、石綿等)の資格者証の写しを添付してください。 ・ 工事写真に電子黒板を使用する場合には、使用する機器(ソフトウェア)を記載してください。
施工体系図	・ 建設工事の請負契約における下請負人をすべて記載してください。
施工体制台帳	・ 監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者に必要な要件が確認できる書類の写しを添付してください。 ・ 請負契約が確認できる書類(以下、「請負契約書等」と言う。)の写しを添付してください。 下記3パターンのいずれかが必要です。 (1)請負契約書、(2)基本契約書+注文書・注文請書、(3)基本契約約款+注文書・注文請書 ・ 請負契約書等に必須の内容(建設業法第19条第1項による)が記載されていることを確認してください。 ・ 一人親方と請負契約又は雇用契約による適正な契約を行うとともに、社会保険に適切に加入してください。 ・ 一次下請け業者の本社が福岡市外にある場合、地場企業下請不使用理由書を提出してください。 ・ 各社の作業員名簿を添付してください。 ・ 施工体制台帳と作業員名簿の社会保険の加入状況を正しく記載してください。 ・ 外国人作業員については、在留資格、雇用契約書又は技能実習計画書を提示できるようにしてください。 ・ 施工体制台帳及び再下請負通知書の工事内容の欄には、担当する工事の具体的な内容を記入してください。 その際、〇〇工事一式といった曖昧な記載や上位注文者と同じ記載内容ではなく、下請負人の責任施工範囲、 施工条件等を具体的に記載してください。 ・ 工期延長した期間中に下請負人が施工を行う場合は、変更した施工体制台帳を作成してください。 ・ 重量物搬入を行う下請負人についても、施工体制台帳を作成してください。
産業廃棄物処理	・ 許可を持たない事業者収集運搬や処分をさせないでください。 ・ 産業廃棄物や発生材(スクラップ、古紙等)の処理(処分業者までの搬入)は、工期内に行ってください。 ・ 工期延長した期間中に収集運搬及び処分を行う場合は、それらの履行期間を延長して行ってください。 ・ 工事写真で産業廃棄物収集運搬車の表示が確認できるようにしてください。
建設リサイクル	・ 「建設リサイクル法届出(通知)番号」を工事標示板等に貼り付け、工事写真として撮影してください。 ・ 路面復旧におけるアスファルトや路盤材、基礎材等で使用する砕石、砂などに再生材を使用した場合、工事計画時に再生資源利用計画書、工事完了時に再生資源利用実施書を提出してください。 ・ 撤去工事などで建設副産物の発生がある場合、工事計画時に再生資源利用促進計画書、工事完了時に再生資源利用促進実施書を提出してください。
退職金関係	・ 建退共については、掛金充当実績総括表・被共済者就労状況報告書・工事別共済証紙受払簿で配布枚数が確認できるようにしてください。共済手帳の証紙貼り付け前後の写し、共済証紙受領証は不要です。 ・ 自社の退職金規定がある場合は、規定の写しを提示してください。 ・ その他の退職金制度に加入している場合は、建設業退職金共済制度加入労働者数報告書と加入証明書の写しを提示してください。
安全関係	・ 現場作業や施工管理に従事した方については、新規入場者教育の実施記録と作業員名簿に記載されていることを確認してください。 ・ 作業主任者の選任が必要な作業がある場合は、作業主任者を選任し、作業主任者の氏名等を見やすい場所に掲示してください。また、その状況を工事写真として撮影してください。 ・ 足場については、最大積載荷重を掲示し、工事写真として撮影してください。 ・ 酸欠、硫化水素中毒のおそれがある場所については、酸素、硫化水素の濃度測定を行い、測定記録を提示してください。 ・ 石綿障害予防規則に規定される石綿等を取り扱う作業を行う場合、石綿作業主任者を選任してください。また、石綿が使用されている建築物又は工作物の解体等の作業を行う労働者は、特別教育を受講してください。 ・ 石綿については、原則すべての建築物及び工作物の解体、改修工事等(電気設備工事を含む)において事前調査が必要です。事前調査結果の記録の作成、発注者への書面説明を行ってください。 ・ 一定規模以上の工事においては、石綿の事前調査結果報告が必要です。Gビズの登録を行ってください。 また、石綿除去作業を行う際は、特定粉じん排出等作業計画及び作業完了報告書が必要です。 ※一定規模以上の工事とは、建築物の解体:対象床面積が80㎡以上、建築物の改造・補修、工作物の解体・改造・補修:請負金額の合計が100万円以上 ・ 脚立を跨いで作業、ヘルメットを着用していない、又はフレコンバッグをフォークリフトのフォークで直接吊る等の不安全作業を行わないでください。
工事写真	・ 工事黒板に位置、施工対象、施工内容がわかるように記載してください。 ・ 工事写真の黒板情報電子化(電子黒板)を実施した場合には、信憑性の確認を行った結果を提出してください。 ・ 同じ写真を複数回使用しないでください。 ・ 写真サイズを統一してください。ただし、画像の拡大やトリミングを行わないでください。 ・ 同一仕様の資機材については、監督員と協議のうえ抽出して撮影してください。全数が確認できるように納品の都度撮影する必要はありません。 ・ 接地極の深さ、埋戻しの1層の仕上り厚さ、コンクリート埋込管や隠ぺい配管の支持間隔等の不可視部分が分かるように撮影してください。

2. 施工における重点項目

現場の指摘事項の70%以上は下記18項目によるものです。社内検査などで特に確認するようにしてください。

重点項目	①入線口や開口部はパテや蓋で閉塞してください。 (盤類、プルボックス、ダクト、配管端部、エントランスキャップ、ハンドホール)
	②線名札を取り付けてください。 区間(始点[盤・機器名称]～終点[盤・機器名称])、線種、電線サイズを記載してください。 (盤類、機器類、プルボックス、ダクト、ラック、ハンドホール、電極、予備配管の導入線など)
	③施工銘板を正確に取り付けてください。 受注者名、工事件名、施工年月を記載してください。既設盤改造の場合は改造内容を表示してください。(盤類、機器類)
	④名称を正確に表示してください。 (盤名称、負荷名称、機器名称、警報名称)
	⑤屋外の盤類、プルボックス、ダクトには三方コーキングを施してください。
	⑥用途表示をしてください。 (接地端子台の接地種別、タイマーの用途及び設定値、端子盤内機器スペース、プルボックス、呼出表示器復旧釦、引込入線力バーなど)
	⑦完成図、系統図、取扱説明書などを挿入してください。 (盤類、機器類、火災受信機、消火栓ボックス、メーターボックス)
	⑧支持、固定を確実にを行い、盤類、機器類及び架台の据付ボルトには合いマークを入れてください。14mm²以上の電線及びケーブルは、増し締め表示をしてください。
	⑨耐震措置を施してください。 (PC、ディスプレイ、UPS、HDD、リモートマイクなど)
	⑩人が触れる範囲の突起物、鋭利な部分を無くす、もしくは養生や危険表示をしてください。 (盤類やボックスの角部、ダクター端部、ダクタークリップ、支持ボルト、基礎コンクリートのバリなど)
	⑪強電線と弱電線の離隔を取ってください。 (天井、ピット、盤内、プルボックス、ダクト、ラック、ハンドホールなど)
	⑫ELB用接地線は緑／黄色の電線又は黄色端子キャップ等(緑色の電線の場合)で区別してください。
	⑬接地極埋設標を正確に取り付けてください。 (種別、抵抗値、角度、深さの記載内容、設計図書で指定された埋設標の数量、材質)
	⑭撤去跡や施工に伴い生じた傷の補修をしてください。 (ボルト、ビス穴をモルタルやコーキング材で埋め塗装するなど)
	⑮塗装の剥がれや傷にタッチアップをしてください。 (盤類、プルボックス、ダクト、配管、ポールなど。また、昇降機の外観(扉、三方枠))
	⑯施工部分の清掃をしてください。 (盤、プルボックス、ダクトなど。また、昇降機の外観(扉、三方枠、内装))
	⑰配線器具に表示をしてください。 (スイッチの点灯区分や消し遅れ表示、コンセントの回路番号、専用負荷表示など)
	⑱バッテリーの交換時期を表示してください。 (警報盤、火災受信機、非常放送アンプ、UPSなど)

3. 施工(工事種別ごと)

重点項目の他によくある指摘や是正に手間がかかる指摘を工事種別ごとに記載しています。

建築電気設備工事	[盤類] ・ 高圧ケーブル末端処理銘板(線種、作業日付、工事業者名、作業員氏名)を見やすい位置に表示してください。 ・ 受変電設備内の変圧器や高圧機器については、扉の裏面に機器の副銘板を貼り付けてください。 ・ 200V電灯回路には赤文字で200V表示をしてください。 ・ 逆相送りしている回路には逆相の表示をしてください。 ・ 1端子へのケーブル等の接続は2本までとしてください。 ・ 屋外に設置する盤の底面に水抜き穴を設けてください。 ・ タイマーを内蔵している場合は、用途・設定時間の表示をしてください。 ・ 盤用にアース線を取り付けてください。扉にもアース線が必要です。
	[機器類] ・ 機器(撤去保管品を含む)に転倒防止措置を行ってください。 ・ 落下防止ワイヤーを取り付けてください。(壁掛けディスプレイ、大型スピーカなど)
	[配線器具] ・ コンセントの極性、接地に誤りが無いことを確認してください。 ・ 絶縁棒を使用してください。
	[ボックス類] ・ 屋外に設置するプルボックスやジョイントボックスは、底部に水抜き穴を設けてください。 ・ 金属製セパレータにはC種接地をとってください。
	[配管配線類] ・ 高圧注意の表示を行ってください。 (人が触れる範囲の配管、ラック、ダクト、プルボックス、ハンドホール内ケーブルなど) ・ ボンディングを施してください。(配管、ラック、ダクト、プルボックス、金属線ぴ、ちょう架用線など) ・ 天井内ころがし配線が天井下地に接触しないよう、ケーブル支持を行ってください。
	[接地] ・ 異なる種別の接地線を同一端子台で接続(混触)させないでください。
	[区画貫通処理等] ・ 必要な箇所の防火区画貫通処理を行ってください。 ・ 国土交通大臣認定工法で施工した箇所には工法表示ラベルを貼り付けてください。 ・ 区画以外の貫通部においても水気、じんあい等が侵入し難いようパテなどで閉塞してください。
	[その他] ・ 埋設標を適切に設置してください。(蹟かないようにする、正しい方向にするなど) ・ 塗装が必要な工事においては、配管及び配管付属品の塗装をしてください。 ・ 検査時に動作が確認できないことが無いようにしてください。(新設、移設、撤去際取付等を含む) ・ 埋戻し、転圧を確実にいき、くぼみなどが無いようにしてください。
土木電気設備工事(道路照明・信号機・駐輪機器)	・ ソーラータイムスイッチを正しく設定してください。(地区、時間) ・ 管理銘板を正しく作成してください。(灯柱番号、消費電力、基礎寸法等) 消費電力は照明器具の消費電力であり、電力会社へ申請した電力値ではありません。
プラント電気設備工事	・ 高圧ケーブル末端処理銘板(線種、作業日付、工事業者名、作業員氏名)を見やすい位置に表示してください。 ・ 各種配線(接地線含む)の接続漏れが無いようにしてください。 ・ バルブ開閉札を取り付けてください。 ・ 埋戻し、転圧を確実にいき、くぼみなどが無いようにしてください。
昇降機設備工事	・ インターホンの通話方法を分かりやすく表示してください。 ・ 現場検査時に機器の型式が確認できるようにしてください。 ・ 操作盤、銘板が傾いていないか、壁との間に隙間がないかなど取付状況を確認してください。 ・ カウンターウェイト接近注意の表示をしてください。